

 泉佐野市長 千代松 大耕	大阪府 いずみさのし 泉佐野市  ひとを支え ひとを創り 賑わいを創る 世界に羽ばたく国際都市 泉佐野	【データ】令和7年4月1日現在 ○人 口：99,365人 ○世帯数：50,949世帯 ○面 積：約56.51km² ○市の花：ささゆり ○市の木：いちよう ○市の鳥：ルリビタキ ○特産品：泉州タオル・水なす・泉州たまねぎ・松波キャベツ・泉だこ 【担当】 健康福祉部健康推進課 電話：072（463）1212 E-mail： hoken-c@city.izumisano.lg.jp
---	---	--

■泉佐野市のプロフィール



本市は大阪府南部に位置し、恵み豊かな大阪湾に面するとともに、山間部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈に属する、自然の美しいまちです。また、海は「北前船船主集落」、里は「中世日根荘の風景」、山は「葛城修験」と全国最多となる3つの日本遺産があり、歴史文化的な景観と、臨海部にある「りんくうタウン」や「関西国際空港」などの近代的な景観が共存するまちでもあります。瀬戸内式気候に属し温暖で、降水量も比較的少なく、交通の利便性も高く暮らしやすい環境となっています。平成6

年9月に開港した関西国際空港のインパクトを最大限に活用し、第5次泉佐野市総合計画の将来像でもある「世界に羽ばたく国際都市 泉佐野」の実現に向け、「ひと」も「まち」も飛躍できるような施策を推進しています。

本年は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに「大阪・関西万博」が開催されています。万博期間中は、りんくうタウンエリアを中心に各種イベントを開催するとともに、万博会場での催事では、地域の伝統文化をはじめ、市域の魅力を発信する多様な出展をおこないます。



泉佐野市公式キャラクター「イヌナキン」
©ゆでたまご／泉佐野市

■第2次泉佐野市健康増進計画・食育推進計画

すべての市民が健康に暮らせるまちの実現のために、個人・行政・社会がつながり、環(わ)となって健康づくりに取り組んでいくことをめざしています。

「健康なまちいずみさの」みんなでつなぐ健康づくりと食育の環を基本理念とし、「健康寿命の延伸」を基本目標に3つの基本方針「生活習慣病の発症予防と重症化予防」「健康を支え、守るための社会環境の整備」「健康づくりと食育の一体的推進」を基に、8分野における施策を展開しています。

■健康都市宣言

すべての市民がいつまでも健康にいきいきと暮らすことができるよう、本市は平成28年3月「健康都市」を宣言いたしました。

『健康都市宣言』

健康であることは、すべての市民の願いであり、人生を豊かにし、活力のある社会を築くことにつながります。また、本市がめざす「ひと」に視点を置いたまちづくりの基盤となるものです。

泉佐野市は、市民一人ひとりが主役となり、お互いに支え合いながら、生涯にわたる健康づくりに取り組むことで「すべての市民が健康なまちいずみさの」をめざし、ここに健康都市を宣言します。

1. 私たちは、いつまでも元気で自分らしい生活を送り、健康寿命を延ばします。
2. 私たちは、病気の予防や健康増進のために、自らの健康状態を知り、生活習慣の改善に取り組みます。
3. 私たちは、一人ひとりが主役となり、家庭、地域などが互いに支え合う環境をつくることで、市民全体の健康を維持します。

平成28年3月23日

■市民ボランティアとの協働

【みんなの健康づくり応援団／食生活改善推進協議会】

健康の大切さを市民に伝えるかけ橋的存在として、地域のいきいきとした活動の支援をしていただくため、「いずみさのみんなの健康づくり応援団」は、地域に出かけて手作りの紙芝居で介護予防の大切さを、BCG 予防接種の待ち時間を活用して離乳食開始頃のお子さんの保護者を対象に食事バランスシートを配付し、お子さんを含むご家族の食生活のアドバイスをを行っています。「泉佐野市食生活改善推進協議会」は、調理実習で生活習慣病予防のための「食」を学び、啓発し、またイベントなどに出向いて家族・地域の健康増進・減塩推進・食育推進などの活動を行っています。



■健康づくりの拡充

令和6年1月よりスマートフォンアプリ「スポーツタウン WALKER」を活用し、健康マイレージ事業をデジタル化した「愛称：さのぼっ歩」を実施しています。「歩く」「健（検）診受診」「健康イベント参加」などの健康づくり活動により「さの健康ポイント」が貯まる仕組みで、貯まったポイントを地域ポイント「さのぼ」に交換することで市内加盟店舗での使用が可能となり、健康づくりと同時に地域経済の活性化も図っております。